

## 2009 年度 情報科学&情報科学演習 レポート 2

学生用

学籍番号：\_\_\_\_\_

氏名：\_\_\_\_\_

下記の注意事項を守り、次ページ以降の問いに答え、レポートを完成させなさい。

提出期限：2009 年 5 月 12 日 (火) 13:00 まで

提出場所：理学部棟 正面玄関内に設置のレポートボックス

### 注意事項：

- (1) このページを印刷し、必要事項を記入の上 (学籍番号欄と氏名欄は2箇所あるので忘れずに記入すること)、レポートの表紙として提出すること。
- (2) 文章処理ソフトウェアや図形処理ソフトウェア等を駆使してレポートを作成し (問→解答→問→解答→…の順になるように記述すること)、A4 サイズの用紙に印刷して提出すること (手書きは不可)。
- (3) クラスメイトのレポートを参考にしたり、クラスメイトと協力してレポートを作成した場合は、教員控の協力者氏名欄にクラスメイトの氏名を記入すること。これらの場合も、自分の言葉で表現し直すこと。**コピー禁止**。
- (4) 情報科学&情報科学演習について、あなたの声を聞かせてください (教員控の意見・質問欄に記入のこと)。気軽にどうぞ (成績には一切影響しません)。

出題者：幸山 直人

出題日：2009 年 5 月 1 日 (金) 振替授業

得点：

/6

----- 切り取り線 -----

## 2009 年度 情報科学&情報科学演習 レポート 2

教員控

学籍番号：\_\_\_\_\_

氏名：\_\_\_\_\_

協力者氏名：\_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_

レポート作成に要した時間：\_\_\_\_\_ 時間

得点：

/6

意見・質問：

**問 1** 次の (1)～(2) の条件を満たす流れ図 (フローチャート) をそれぞれ Power Point を使って描き、印刷してレポートの末尾に添付しなさい。手書きは不可。(各 2 点)

(1) テキスト 106 ページの「図 5.1: 5 の平方根を小数点以下第 2 位まで求めるアルゴリズムの流れ図」(後判定) を繰り返し (前判定) の流れ図に書き換えなさい。

(2) テキスト 107 ページの「図 5.2: 正の整数  $x, y$  の最大公約数を求めるアルゴリズムの流れ図」(前判定) を繰り返し (後判定) の流れ図に書き換えなさい。

**問 2** 「新訂 新 C 言語入門 ビギナー編」に記載されている次の (1)～(4) のプログラムを入力し、各ソースプログラムを印刷してレポートの末尾に添付しなさい。もちろん、コンパイルしてプログラムが正しく実行されるか確認すること。(各 0.5 点)

(1) 29 ページのリスト「2 数の和を求める」(ファイル名「report0201.c」)

(2) 36 ページのリスト「キーボード入力された数値を 2 倍にして出力する」  
(ファイル名「report0202.c」)

(3) 40 ページのリスト「数値定数の確認」(ファイル名「report0203.c」)

(4) 48 ページのリスト「練習問題 2」(ファイル名「report0204.c」)

**ゴールデンウィーク中に以下のことをやっておきましょう!**

(1) プログラミング方法をマスターする。

\* ソースプログラムの作成 → コンパイル → オブジェクトモジュールの実行

(2) 「新訂 新 C 言語入門 ビギナー編」の Chapter 1 と Chapter 2 を  
3 回以上繰り返し読むこと。

(3) ハノイの塔のアルゴリズムを考察しておくこと。